

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 29 年 2 月 23 日 (2017.2.23)

【公表番号】特表 2016-510184 (P2016-510184A)
 【公表日】平成 28 年 4 月 4 日 (2016.4.4)
 【年通号数】公開・登録公報 2016-020
 【出願番号】特願 2015-557075 (P2015-557075)
 【国際特許分類】

H 0 4 W 72/04 (2009.01)

【F I】

H 0 4 W 72/04 1 1 0

H 0 4 W 72/04 1 3 6

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 1 月 19 日 (2017.1.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

データ通信のための方法であって、

通常帯域幅キャリアシステムに関するフレキシブル帯域幅キャリアの送信時間間隔 (T T I) を膨張させることによって、時間膨張を用いるフレキシブル帯域幅キャリアシステム のブロードキャストチャネルについてのターゲットレートを識別すること、ここにおいて、前記ターゲットレート は、前記ブロードキャストチャネルについてのスケーリングされたレート よりも高く、前記スケーリングされたレート は、前記通常帯域幅キャリアシステム のブロードキャストチャネルについての、前記フレキシブル帯域幅キャリアシステム に対応する帯域幅スケーリングファクタによってスケーリングされたレートである、と、
前記ターゲットレート を使用して、前記フレキシブル帯域幅キャリアシステム のブロードキャスト情報を送信することと
 を備える方法。

【請求項 2】

前記ターゲットレート は、ターゲットデータレート である、
 請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記ターゲットレート は、ターゲット繰返しレート である、
 請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記フレキシブル帯域幅キャリアシステム の追加のブロードキャストチャネルを追加することと、

前記ターゲットレート を使用して、前記フレキシブル帯域幅キャリアシステム の両方のブロードキャストチャネルを通じて前記ブロードキャスト情報 を送信することと
 をさらに備える、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記ターゲットレート は、情報データレート であり、

前記情報データレート は、前記通常帯域幅キャリアシステム の前記ブロードキャストチャネル についての前記レート と実質的に同じである、

請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

前記ターゲットレートを使用して前記ブロードキャスト情報を送信するのを容易にするために、前記フレキシブル帯域幅キャリアシステムの前記ブロードキャストチャンネルについての無線フレームサイクルにおいて送信される各情報ブロックのロケーションを利用することをさらに備える、

請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

前記無線フレームサイクルにおいて各情報ブロックの前記ロケーションをスケジュールすることをさらに備える、

請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

前記情報ブロックは、システム情報ブロック (SIB) である、

請求項 6 に記載の方法。

【請求項 9】

前記情報ブロックは、マスタ情報ブロック (MIB) である、

請求項 6 に記載の方法。

【請求項 10】

前記ターゲットレートを使用して前記ブロードキャスト情報を送信するのを容易にするために、前記フレキシブル帯域幅キャリアシステムの前記ブロードキャストチャンネルについての無線フレームサイクルにおける無線フレームに情報ブロックをマッピングすることをさらに備え、前記無線フレームの持続時間は、前記帯域幅スケーリングファクタに基づく、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 11】

前記ターゲットレートを使用して前記ブロードキャスト情報を送信するのを容易にするために、前記フレキシブル帯域幅キャリアシステムの前記ブロードキャストチャンネルの 1 つまたは複数のプライマリ共通制御物理チャンネル (PCCPCH) に関するスケーリングされた拡散ファクタを利用することをさらに備え、前記スケーリングされた拡散ファクタは、前記帯域幅スケーリングファクタによって、または前記帯域幅スケーリングファクタの分数によってスケーリングされる、

請求項 1 に記載の方法。

【請求項 12】

前記ブロードキャスト情報は、アクセスのための信号強度情報、サービスプロバイダ情報、および近隣セル情報のうちの 1 つまたは複数を含む、

請求項 1 に記載の方法。

【請求項 13】

前記帯域幅スケーリングファクタは、整数値または有理数値である、

請求項 1 に記載の方法。

【請求項 14】

データ通信のための方法であって、

通常帯域幅キャリアシステムに関するフレキシブル帯域幅キャリアの送信時間間隔 (TTI) を膨張させることによって、時間膨張を用いるフレキシブル帯域幅キャリアシステムのブロードキャストチャンネルを通じて送信されたブロードキャスト情報をユーザ機器において受信すること、ここにおいて、前記ブロードキャスト情報が受信される際のターゲットレートは、前記ブロードキャストチャンネルについてのスケーリングされたレートよりも高く、前記スケーリングされたレートは、前記通常帯域幅キャリアシステムのブロードキャストチャンネルについての、前記フレキシブル帯域幅キャリアシステムに対応する帯域幅スケーリングファクタによってスケーリングされたレートである、と、

前記ユーザ機器との通信の候補セルを識別するために、前記ブロードキャスト情報を処理することと

を備える方法。

【請求項 15】

前記ターゲットレートは、ターゲットデータレートである、
請求項 14 に記載の方法。

【請求項 16】

前記ターゲットレートは、ターゲット繰返しレートである、
請求項 14 に記載の方法。

【請求項 17】

前記ブロードキャスト情報を受信することは、
前記フレキシブル帯域幅キャリアシステムの前記ブロードキャストチャネルを通じて、
および前記フレキシブル帯域幅キャリアシステムの追加のブロードキャストチャネルを通じて、
前記ターゲットレートで前記ブロードキャスト情報を受信すること
を備える、
請求項 14 に記載の方法。

【請求項 18】

前記ブロードキャスト情報を受信することは、
アクセスのための信号強度情報、サービスプロバイダ情報、および近隣セル情報のうちの
1 つまたは複数を受信することを備える、
請求項 14 に記載の方法。

【請求項 19】

前記ブロードキャスト情報を受信することは、
前記フレキシブル帯域幅キャリアシステムの前記ブロードキャストチャネルについての
無線フレームサイクルを受信することを備え、情報ブロックは、前記ターゲットレートに
基づいて前記無線フレームサイクルにおける無線フレームにマッピングされ、前記無線フ
レームの持続時間は、前記帯域幅スケーリングファクタに基づく、
請求項 14 に記載の方法。

【請求項 20】

前記情報ブロックは、少なくとも 1 つのシステム情報ブロック (SIB) を備える、請
求項 19 に記載の方法。

【請求項 21】

前記情報ブロックは、少なくとも 1 つのマスタ情報ブロック (MIB) を備える、請求
項 19 に記載の方法。

【請求項 22】

前記ブロードキャスト情報を受信することは、
前記フレキシブル帯域幅キャリアシステムの前記ブロードキャストチャネルの 1 つまた
は複数のプライマリ共通制御物理チャネル (PCCPCH) に関するスケーリングされた
拡散ファクタに基づいて、前記ターゲットレートで前記ブロードキャスト情報を受信す
ることを備え、前記スケーリングされた拡散ファクタは、前記帯域幅スケーリングファクタ
によって、または前記帯域幅スケーリングファクタの分数によってスケーリングされる、
請求項 14 に記載の方法。

【請求項 23】

通常帯域幅キャリアシステムに関するフレキシブル帯域幅キャリアの送信時間間隔 (T
TI) を膨張させることによって、時間膨張を用いるフレキシブル帯域幅キャリアシステ
ムのブロードキャストチャネルについてのターゲットレートを識別するための手段、ここ
において、前記ターゲットレートは、前記ブロードキャストチャネルについてのスケーリ
ングされたレートよりも高く、前記スケーリングされたレートは、前記通常帯域幅キャ
リアシステムのブロードキャストチャネルについての、前記フレキシブル帯域幅キャリ
アシステムに対応する帯域幅スケーリングファクタによってスケーリングされたレートである
、と、

前記ターゲットレートを使用して、前記フレキシブル帯域幅キャリアシステムのブロー

ドキャスト情報を送信するための手段と
を備えるワイヤレス通信システム。

【請求項 2 4】

前記ターゲットレートは、ターゲットデータレートである、
請求項 2 3 に記載のワイヤレス通信システム。

【請求項 2 5】

前記ターゲットレートは、ターゲット繰返しレートである、
請求項 2 3 に記載のワイヤレス通信システム。

【請求項 2 6】

前記フレキシブル帯域幅キャリアシステムの追加のブロードキャストチャネルを追加する
ための手段と、

前記ターゲットレートを使用して、前記フレキシブル帯域幅キャリアシステムの両方の
ブロードキャストチャネルを通じて前記ブロードキャスト情報を送信するための手段と
をさらに備える、請求項 2 3 に記載のワイヤレス通信システム。

【請求項 2 7】

前記ターゲットレートは、情報データレートであり、
前記情報データレートは、前記通常帯域幅キャリアシステムの前記ブロードキャストチ
ャネルについての前記レートと実質的に同じである、
請求項 2 3 に記載のワイヤレス通信システム。

【請求項 2 8】

前記ターゲットレートを使用して前記ブロードキャスト情報を送信するのを容易にする
ために、前記フレキシブル帯域幅キャリアシステムの前記ブロードキャストチャネルにつ
いての無線フレームサイクルにおいて送信される各情報ブロックのロケーションを利用す
るための手段をさらに備える、
請求項 2 3 に記載のワイヤレス通信システム。

【請求項 2 9】

前記無線フレームサイクルにおいて各情報ブロックの前記ロケーションをスケジュール
するための手段をさらに備える、
請求項 2 8 に記載のワイヤレス通信システム。

【請求項 3 0】

前記情報ブロックは、システム情報ブロック (S I B) である、
請求項 2 9 に記載のワイヤレス通信システム。

【請求項 3 1】

前記情報ブロックは、マスタ情報ブロック (M I B) である、
請求項 2 9 に記載のワイヤレス通信システム。

【請求項 3 2】

前記ターゲットレートを使用して前記ブロードキャスト情報を送信するのを容易にする
ために、前記フレキシブル帯域幅キャリアシステムの前記ブロードキャストチャネルにつ
いての無線フレームサイクルにおける無線フレームに情報ブロックをマッピングするた
めの手段をさらに備え、前記無線フレームの持続時間は、前記帯域幅スケーリングファクタ
に基づく、
請求項 2 3 に記載のワイヤレス通信システム。

【請求項 3 3】

前記ターゲットレートを使用して前記ブロードキャスト情報を送信するのを容易にする
ために、前記フレキシブル帯域幅キャリアシステムの前記ブロードキャストチャネルの 1
つまたは複数のプライマリ共通制御物理チャネル (P C C P C H) に関するスケーリング
された拡散ファクタを利用するための手段をさらに備え、前記スケーリングされた拡散フ
ァクタは、前記帯域幅スケーリングファクタによって、または前記帯域幅スケーリングフ
ァクタの分数によってスケーリングされる、
請求項 2 3 に記載のワイヤレス通信システム。

【請求項 3 4】

前記ブロードキャスト情報は、アクセスのための信号強度情報、サービスプロバイダ情報、および近隣セル情報のうちの1つまたは複数を含む、
請求項 2 3 に記載のワイヤレス通信システム。

【請求項 3 5】

前記帯域幅スケールリングファクタは、整数値または有理数値である、
請求項 2 3 に記載のワイヤレス通信システム。

【請求項 3 6】

通常帯域幅キャリアシステムに関するフレキシブル帯域幅キャリアの送信時間間隔 (TTI) を膨張させることによって、時間膨張を用いるフレキシブル帯域幅キャリアシステムのブロードキャストチャネルを通じて送信されたブロードキャスト情報をユーザ機器において受信するための手段、ここにおいて、前記ブロードキャスト情報が受信される際のターゲットレートは、前記ブロードキャストチャネルについてのスケールリングされたレートよりも高く、前記スケールリングされたレートは、前記通常帯域幅キャリアシステムのブロードキャストチャネルについての、前記フレキシブル帯域幅キャリアシステムに対応する帯域幅スケールリングファクタによってスケールリングされたレートである、と、

前記ユーザ機器との通信の候補セルを識別するために、前記ブロードキャスト情報を処理するための手段と
を備えるワイヤレス通信システム。

【請求項 3 7】

前記ターゲットレートは、ターゲットデータレートである、
請求項 3 6 に記載のワイヤレス通信システム。

【請求項 3 8】

前記ターゲットレートは、ターゲット繰返しレートである、
請求項 3 6 に記載のワイヤレス通信システム。

【請求項 3 9】

前記ブロードキャスト情報を受信するための前記手段は、
前記フレキシブル帯域幅キャリアシステムの前記ブロードキャストチャネルを通じて、および前記フレキシブル帯域幅キャリアシステムの追加のブロードキャストチャネルを通じて、前記ターゲットレートで前記ブロードキャスト情報を受信するための手段を備える、請求項 3 6 に記載のワイヤレス通信システム。

【請求項 4 0】

前記ブロードキャスト情報を受信するための前記手段は、
アクセスのための信号強度情報、サービスプロバイダ情報、および近隣セル情報のうちの1つまたは複数を受信するための手段を備える、
請求項 3 6 に記載のワイヤレス通信システム。

【請求項 4 1】

前記ブロードキャスト情報を受信するための前記手段は、
前記フレキシブル帯域幅キャリアシステムの前記ブロードキャストチャネルについての無線フレームサイクルを受信するための手段を備え、情報ブロックは、前記ターゲットレートに基づいて前記無線フレームサイクルにおける無線フレームにマッピングされ、前記無線フレームの持続時間は、前記帯域幅スケールリングファクタに基づく、請求項 3 6 に記載のワイヤレス通信システム。

【請求項 4 2】

前記情報ブロックは、少なくとも1つのシステム情報ブロック (SIB) を備える、
請求項 4 1 に記載のワイヤレス通信システム。

【請求項 4 3】

前記情報ブロックは、少なくとも1つのマスタ情報ブロック (MIB) を備える、
請求項 4 1 に記載のワイヤレス通信システム。

【請求項 4 4】

前記ブロードキャスト情報を受信するための前記手段は、

前記フレキシブル帯域幅キャリアシステムの前記ブロードキャストチャンネルの1つまたは複数のプライマリ共通制御物理チャンネル(PCCPCH)に関するスケーリングされた拡散ファクタに基づいて、前記ターゲットレートで前記ブロードキャスト情報を受信するための手段を備え、前記スケーリングされた拡散ファクタは、前記帯域幅スケーリングファクタによって、または前記帯域幅スケーリングファクタの分数によってスケーリングされる、請求項36に記載のワイヤレス通信システム。

【請求項45】

メモリと通信可能に結合された少なくとも1つのプロセッサを備えるワイヤレス通信デバイスであって、前記メモリが実行可能コードを備え、前記実行可能コードが、前記少なくとも1つのプロセッサによって実行されると、前記少なくとも1つのプロセッサに、

通常帯域幅キャリアシステムに関するフレキシブル帯域幅キャリアの送信時間間隔(TTI)を膨張させることによって、時間膨張を用いるフレキシブル帯域幅キャリアシステムのブロードキャストチャンネルについてのターゲットレートを識別すること、ここにおいて、前記ターゲットレートは、前記ブロードキャストチャンネルについてのスケーリングされたレートよりも高く、前記スケーリングされたレートは、前記通常帯域幅キャリアシステムのブロードキャストチャンネルについての、前記フレキシブル帯域幅キャリアシステムに対応する帯域幅スケーリングファクタによってスケーリングされたレートである、と、前記ターゲットレートを使用して、前記フレキシブル帯域幅キャリアシステムのブロードキャスト情報を送信することとを行わせる、ワイヤレス通信デバイス。

【請求項46】

前記ターゲットレートは、ターゲットデータレートである、請求項45に記載のワイヤレス通信デバイス。

【請求項47】

前記ターゲットレートは、ターゲット繰返しレートである、請求項45に記載のワイヤレス通信デバイス。

【請求項48】

前記実行可能コードは、前記少なくとも1つのプロセッサに、前記フレキシブル帯域幅キャリアシステムの追加のブロードキャストチャンネルを追加することと、前記ターゲットレートを使用して、前記フレキシブル帯域幅キャリアシステムの両方のブロードキャストチャンネルを通じて前記ブロードキャスト情報を送信することとを行わせる、請求項45に記載のワイヤレス通信デバイス。

【請求項49】

前記ターゲットレートは、情報データレートであり、前記情報データレートは、前記通常帯域幅キャリアシステムの前記ブロードキャストチャンネルについての前記レートと実質的に同じである、請求項45に記載のワイヤレス通信デバイス。

【請求項50】

前記実行可能コードは、前記少なくとも1つのプロセッサに、前記ターゲットレートを使用して前記ブロードキャスト情報を送信するのを容易にするために、前記フレキシブル帯域幅キャリアシステムの前記ブロードキャストチャンネルについての無線フレームサイクルにおいて送信される各情報ブロックのロケーションを利用することを行わせる、請求項45に記載のワイヤレス通信デバイス。

【請求項51】

前記実行可能コードは、前記少なくとも1つのプロセッサに、前記無線フレームサイクルにおいて各情報ブロックの前記ロケーションをスケジュールすることを行わせる、

請求項 5 0 に記載のワイヤレス通信デバイス。

【請求項 5 2】

前記情報ブロックは、システム情報ブロック (S I B) である、

請求項 5 1 に記載のワイヤレス通信デバイス。

【請求項 5 3】

前記情報ブロックは、マスタ情報ブロック (M I B) である、

請求項 5 1 に記載のワイヤレス通信デバイス。

【請求項 5 4】

前記実行可能コードは、前記少なくとも 1 つのプロセッサに、

前記ターゲットレートを使用して前記ブロードキャスト情報を送信するのを容易にするために、前記フレキシブル帯域幅キャリアシステムの前記ブロードキャストチャネルについての無線フレームサイクルにおける無線フレームに情報ブロックをマッピングすることを行わせ、前記無線フレームの持続時間は、前記帯域幅スケーリングファクタに基づく、請求項 4 5 に記載のワイヤレス通信デバイス。

【請求項 5 5】

前記実行可能コードは、前記少なくとも 1 つのプロセッサに、

前記ターゲットレートを使用して前記ブロードキャスト情報を送信するのを容易にするために、前記フレキシブル帯域幅キャリアシステムの前記ブロードキャストチャネルの 1 つまたは複数のプライマリ共通制御物理チャネル (P C C P C H) に関するスケーリングされた拡散ファクタを利用することを行わせ、前記スケーリングされた拡散ファクタは、前記帯域幅スケーリングファクタによって、または前記帯域幅スケーリングファクタの分数によってスケーリングされる、

請求項 4 5 に記載のワイヤレス通信デバイス。

【請求項 5 6】

前記ブロードキャスト情報は、アクセスのための信号強度情報、サービスプロバイダ情報、および近隣セル情報のうちの 1 つまたは複数を含む、

請求項 4 5 に記載のワイヤレス通信デバイス。

【請求項 5 7】

前記帯域幅スケーリングファクタは、整数値または有理数値である、

請求項 4 5 に記載のワイヤレス通信デバイス。

【請求項 5 8】

メモリと通信可能に結合された少なくとも 1 つのプロセッサを備えるワイヤレス通信デバイスであって、前記メモリが実行可能コードを備え、前記実行可能コードが、前記少なくとも 1 つのプロセッサによって実行されると、前記ワイヤレス通信デバイスに、

通常帯域幅キャリアシステムに関するフレキシブル帯域幅キャリアの送信時間間隔 (T T I) を膨張させることによって、時間膨張を用いるフレキシブル帯域幅キャリアシステムのブロードキャストチャネルを通じて送信されたブロードキャスト情報を受信すること、ここにおいて、前記ブロードキャスト情報が受信される際のターゲットレートは、前記ブロードキャストチャネルについてのスケーリングされたレートよりも高く、前記スケーリングされたレートは、前記通常帯域幅キャリアシステムのブロードキャストチャネルについての、前記フレキシブル帯域幅キャリアシステムに対応する帯域幅スケーリングファクタによってスケーリングされたレートである、と、

ユーザ機器との通信の候補セルを識別するために、前記ブロードキャスト情報を処理することと

を行わせる、ワイヤレス通信デバイス。

【請求項 5 9】

前記ターゲットレートは、ターゲットデータレートである、

請求項 5 8 に記載のワイヤレス通信デバイス。

【請求項 6 0】

前記ターゲットレートは、ターゲット繰返しレートである、

請求項 5 8 に記載のワイヤレス通信デバイス。

【請求項 6 1】

前記実行可能コードは、前記ワイヤレス通信デバイスに、

前記フレキシブル帯域幅キャリアシステムの前記ブロードキャストチャネルを通じて、および前記フレキシブル帯域幅キャリアシステムの追加のブロードキャストチャネルを通じて、前記ターゲットレートで前記ブロードキャスト情報を受信することを行わせる、請求項 5 8 に記載のワイヤレス通信デバイス。

【請求項 6 2】

前記実行可能コードは、前記ワイヤレス通信デバイスに、

前記ブロードキャスト情報を通じて、アクセスのための信号強度情報、サービスプロバイダ情報、および近隣セル情報のうちの 1 つまたは複数を受信することを行わせる、請求項 5 8 に記載のワイヤレス通信デバイス。

【請求項 6 3】

前記実行可能コードは、前記ワイヤレス通信デバイスに、

前記ブロードキャスト情報を通じて、前記フレキシブル帯域幅キャリアシステムの前記ブロードキャストチャネルについての無線フレームサイクルを受信することを行わせ、情報ブロックは、前記ターゲットレートに基づいて前記無線フレームサイクルにおける無線フレームにマッピングされ、前記無線フレームの持続時間は、前記帯域幅スケーリングファクタに基づく、

請求項 5 8 に記載のワイヤレス通信デバイス。

【請求項 6 4】

前記情報ブロックは、少なくとも 1 つのシステム情報ブロック (SIB) を備える、請求項 6 3 に記載のワイヤレス通信デバイス。

【請求項 6 5】

前記情報ブロックは、少なくとも 1 つのマスタ情報ブロック (MIB) を備える、請求項 6 3 に記載のワイヤレス通信デバイス。

【請求項 6 6】

前記実行可能コードは、前記ワイヤレス通信デバイスに、

前記フレキシブル帯域幅キャリアシステムの前記ブロードキャストチャネルの 1 つまたは複数のプライマリ共通制御物理チャネル (PCCPCH) に関するスケーリングされた拡散ファクタに基づいて、前記ターゲットレートで前記ブロードキャスト情報を受信することを行わせ、前記スケーリングされた拡散ファクタは、前記帯域幅スケーリングファクタによって、または前記帯域幅スケーリングファクタの分数によってスケーリングされる、請求項 5 8 に記載のワイヤレス通信デバイス。

【請求項 6 7】

データ通信のためのコンピュータプログラム製品であって、

非一時的コンピュータ可読媒体を備え、前記非一時的コンピュータ可読媒体は、

通常帯域幅キャリアシステムに関するフレキシブル帯域幅キャリアの送信時間間隔 (TTI) を膨張させることによって、時間膨張を用いるフレキシブル帯域幅キャリアシステムのブロードキャストチャネルについてのターゲットレートを識別するように構成されたコード、ここにおいて、前記ターゲットレートは、前記ブロードキャストチャネルについてのスケーリングされたレートよりも高く、前記スケーリングされたレートは、前記通常帯域幅キャリアシステムのブロードキャストチャネルについての、前記フレキシブル帯域幅キャリアシステムに対応する帯域幅スケーリングファクタによってスケーリングされたレートである、と、

前記ターゲットレートを使用して、前記フレキシブル帯域幅キャリアシステムのブロードキャスト情報を送信するように構成されたコードとを備える、コンピュータプログラム製品。

【請求項 6 8】

前記ターゲットレートは、ターゲットデータレートである、

請求項 6 7 に記載のコンピュータプログラム製品。

【請求項 6 9】

前記ターゲットレートは、ターゲット繰返しレートである、

請求項 6 7 に記載のコンピュータプログラム製品。

【請求項 7 0】

前記非一時的コンピュータ可読媒体は、

前記フレキシブル帯域幅キャリアシステムの追加のブロードキャストチャネルを追加するように構成されたコードと、

前記ターゲットレートを使用して、前記フレキシブル帯域幅キャリアシステムの両方のブロードキャストチャネルを通じて前記ブロードキャスト情報を送信するように構成されたコードと

を備える、請求項 6 7 に記載のコンピュータプログラム製品。

【請求項 7 1】

前記ターゲットレートは、情報データレートであり、

前記情報データレートは、前記通常帯域幅キャリアシステムの前記ブロードキャストチャネルについての前記レートと実質的に同じである、

請求項 6 7 に記載のコンピュータプログラム製品。

【請求項 7 2】

前記非一時的コンピュータ可読媒体は、

前記ターゲットレートを使用して前記ブロードキャスト情報を送信するのを容易にするために、前記フレキシブル帯域幅キャリアシステムの前記ブロードキャストチャネルについての無線フレームサイクルにおいて送信される各情報ブロックのロケーションを利用するように構成されたコードを備える、

請求項 6 7 に記載のコンピュータプログラム製品。

【請求項 7 3】

前記非一時的コンピュータ可読媒体は、

前記無線フレームサイクルにおいて各情報ブロックの前記ロケーションをスケジュールするように構成されたコード

を備える、請求項 7 2 に記載のコンピュータプログラム製品。

【請求項 7 4】

前記情報ブロックは、システム情報ブロック (S I B) である、

請求項 7 3 に記載のコンピュータプログラム製品。

【請求項 7 5】

前記情報ブロックは、マスタ情報ブロック (M I B) である、

請求項 7 3 に記載のコンピュータプログラム製品。

【請求項 7 6】

前記非一時的コンピュータ可読媒体は、

前記ターゲットレートを使用して前記ブロードキャスト情報を送信するのを容易にするために、前記フレキシブル帯域幅キャリアシステムの前記ブロードキャストチャネルについての無線フレームサイクルにおける無線フレームに情報ブロックをマッピングするように構成されたコードを備え、前記無線フレームの持続時間は、前記帯域幅スケールリングファクタに基づく、

請求項 6 7 に記載のコンピュータプログラム製品。

【請求項 7 7】

前記非一時的コンピュータ可読媒体は、

前記ターゲットレートを使用して前記ブロードキャスト情報を送信するのを容易にするために、前記フレキシブル帯域幅キャリアシステムの前記ブロードキャストチャネルの 1 つまたは複数のプライマリ共通制御物理チャネル (P C C P C H) に関するスケールリングされた拡散ファクタを利用するように構成されたコードを備え、前記スケールリングされた拡散ファクタは、前記帯域幅スケールリングファクタによって、または前記帯域幅スケーリ

ングファクタの分数によってスケーリングされる、
請求項 6 7 に記載のコンピュータプログラム製品。

【請求項 7 8】

前記ブロードキャスト情報は、アクセスのための信号強度情報、サービスプロバイダ情報、および近隣セル情報のうちの 1 つまたは複数を含む、
請求項 6 7 に記載のコンピュータプログラム製品。

【請求項 7 9】

前記帯域幅スケーリングファクタは、整数値または有理数値である、
請求項 6 7 に記載のコンピュータプログラム製品。

【請求項 8 0】

データ通信のためのコンピュータプログラム製品であって、
非一時的コンピュータ可読媒体を備え、前記非一時的コンピュータ可読媒体は、
通常帯域幅キャリアシステムに関するフレキシブル帯域幅キャリアの送信時間間隔 (T T I) を膨張させることによって、時間膨張を用いるフレキシブル帯域幅キャリアシステムのブロードキャストチャネルを通じて送信されたブロードキャスト情報をユーザ機器において受信するように構成されたコード、ここにおいて、前記ブロードキャスト情報が受信される際のターゲットレートは、前記ブロードキャストチャネルについてのスケーリングされたレートよりも高く、前記スケーリングされたレートは、前記通常帯域幅キャリアシステムのブロードキャストチャネルについての、前記フレキシブル帯域幅キャリアシステムに対応する帯域幅スケーリングファクタによってスケーリングされたレートである、と、

前記ユーザ機器との通信の候補セルを識別するために、前記ブロードキャスト情報を処理するように構成されたコードと
を備える、コンピュータプログラム製品。

【請求項 8 1】

前記ターゲットレートは、ターゲットデータレートである、
請求項 8 0 に記載のコンピュータプログラム製品。

【請求項 8 2】

前記ターゲットレートは、ターゲット繰返しレートである、
請求項 8 0 に記載のコンピュータプログラム製品。

【請求項 8 3】

前記非一時的コンピュータ可読媒体は、
前記フレキシブル帯域幅キャリアシステムの前記ブロードキャストチャネルを通じて、
および前記フレキシブル帯域幅キャリアシステムの追加のブロードキャストチャネルを通じて、
前記ターゲットレートで前記ブロードキャスト情報を受信するように構成されたコードを備える、
請求項 8 0 に記載のコンピュータプログラム製品。

【請求項 8 4】

前記非一時的コンピュータ可読媒体は、
前記ブロードキャスト情報を通じて、アクセスのための信号強度情報、サービスプロバイダ情報、および近隣セル情報のうちの 1 つまたは複数を受信するように構成されたコードを備える、
請求項 8 0 に記載のコンピュータプログラム製品。

【請求項 8 5】

前記非一時的コンピュータ可読媒体は、
前記ブロードキャスト情報を通じて、前記フレキシブル帯域幅キャリアシステムの前記ブロードキャストチャネルについての無線フレームサイクルを受信するように構成されたコードを備え、情報ブロックは、前記ターゲットレートに基づいて前記無線フレームサイクルにおける無線フレームにマッピングされ、前記無線フレームの持続時間は、前記帯域幅スケーリングファクタに基づく、

請求項 8 0 に記載のコンピュータプログラム製品。

【請求項 8 6】

前記情報ブロックは、少なくとも 1 つのシステム情報ブロック (S I B) を備える、請求項 8 5 に記載のコンピュータプログラム製品。

【請求項 8 7】

前記情報ブロックは、少なくとも 1 つの マスタ 情報ブロック (M I B) を備える、請求項 8 5 に記載のコンピュータプログラム製品。

【請求項 8 8】

前記非一時的コンピュータ可読媒体は、

前記 フレキシブル 帯域幅キャリアシステムの前記ブロードキャストチャネルの 1 つまたは複数のプライマリ共通制御物理チャネル (P C C P C H) に関するスケーリングされた拡散ファクタに基づいて、前記ターゲットレートで前記ブロードキャスト情報を受信するように構成されたコードを備え、前記スケーリングされた拡散ファクタは、前記帯域幅スケーリングファクタによって、または前記帯域幅スケーリングファクタの分数によってスケーリングされる、

請求項 8 0 に記載のコンピュータプログラム製品。